



<東部療育センター メールマガジン 2007年9月号>
障害児（者）の方への情報提供を行い、生活支援を目指します

発行 東京都立東部療育センター
<http://www.tobu-ryoiku.jp/>



2007年9月号のメールマガジンを配信します。今年の猛暑を皆様どのようにお過ごしでしたか？7月号の脱水予防の特集は役に立ちましたでしょうか？
今回は主にパソコンやコミュニケーション関連の福祉機器についての情報をお届けします。

<国際福祉機器展>

ハンドメイドの自助具から車椅子、座位保持装置等の世界の福祉機器を集めた国際展示会が開催されます。実際に足を運んで、車椅子等に試乗することも可能ですが、ホームページからも製品の検索が可能です。又、車椅子等の選び方、使い方等の情報も得られます。

子ども向けの福祉機器を総合的に展示した「子ども広場」も会場内に開設されます。福祉機器の利用や療育についての相談コーナーも設けられる予定です。
内容、時間等の詳細は下記のホームページからご確認ください。

第34回 国際福祉機器展 H.C.R. 2007
期日 平成19年10月3日（水）～10月5日（金）
会場 東京ビックサイト（有明）

<http://www.hcr.or.jp>

<パソコンやコミュニケーション、スイッチなどの福祉機器情報>

作業療法士から

毎年、大規模に行われているHCR（国際福祉機器展）ですが、ここ数年はコンピューター関連や代替コミュニケーションに使われる機器の展示がやや少なくなっているようです。それに伴ってスイッチでできる遊びやスイッチで動かせるおもちゃなどの情報も少なくなっていました。
現在市販されているスイッチには、いろんなタイプがあります。運動機能の障害が重度でも身体の一部、ほんの小さな動きで使えるものが有ります。そのような機器を利用すれば、子ども用のパソコンソフトや電池で動くおもちゃ、ミキサーや扇風機などの家電製品を本人の力で動かして、遊んだり・お手伝いをすることができます。そんなスイッチを見たり、試したり、使い方を紹介してもらいたい方もいらっしゃるでしょう。そこでHCR以外で多少、お役に立つかもしれない情報を紹介します。

1. 東京都障害者ITサポートセンター
ITに関する各種相談を受けてくれます。社会福祉士資格を有するスタッフが、技術的な相談の他、生活上のIT利用全般について話をきいてくれます。

主な事業内容としては、障害者からのIT関連相談窓口、体験コーナー開設運営、IT機器の展示、IT講習室の貸し出し、IT講習会の開催、ITサポーター養成、ITサポーター派遣窓口です。

やや高度な内容に感じると思いますが、展示スペースにはいろんな入力装置やスイッチなどの機器が有るのでパソコンでどんなことができるのかな？とかスイッチを見たり、試したりするだけでもいいと思います。

企画講習会などもやっています。

9月には、「コミュニケーション支援の実践～基礎から体験まで～」が行われるようです。詳しくはホームページをご覧ください。

アドレス：<http://www.tokyo-itcenter.com/>

2. ATAC (エイタック) カンファレンス

・障害のある人や高齢者の自立した生活を助ける電子情報支援技術 (e-AT) とコミュニケーション支援技術 (AAC) の普及を目的に1996年以来毎年開催されています。

今年は、2007年11月30日 (金) ~12月2日 (日) 京都で行われます。

・専門家のセミナー、実践紹介、ユーザ自身による発表、障害疑似体験、機器情報の紹介などたくさんのセッションを自由に選択して学べるカンファレンスです。

初心者にも分かりやすい基礎的な内容から、少し専門的なところまで聴くことができます。

過去に参加した時には、セミナーでは、コミュニケーションの大切さや選択すること・要求すること・自分で決定することの大切さを学ぶことができました。

実践報告では、様々な専門家、先生、お父さん・お母さん、の貴重な成功例、失敗例、楽しいアイデアなどを聴くことができます。もちろん、重度の障害を持つお子さんや発達障害のお子さんのための実践報告も聴くことができました。

・展示会では、国内外の多くのe-AT関連企業・団体が参加しており、参加者がじっくり機器に触れて試すことができます。

アドレス：<http://www.e-at.org/atac/>

3. THE MAGICAL TOY BOX (マジカルトイボックス)

マジカルトイボックスとは、「障がいの重い方でもコミュニケーションを取っているはず！何とかそれを豊かにできないか。」といった思いを持ったメンバーが集まり、パソコンや改造スイッチ、コミュニケーションソフト、コミュニケーション機器を広めるために、展示会や講習会を中心にイベントを展開してきたグループです。

毎年、イベントの開催をしています。今回のイベントは、8月11日に終わってしまいましたが、テーマは『障害の重い子の「わかる」「できる」みんなで「楽しめる」支援技術とコミュニケーション支援』でした。簡単なスイッチやおもちゃの改造の方法などを紹介した本も出版しています。

詳しくは、ホームページを参考にしてください。

アドレス：<http://www.magicaltoybox.org/>

4. こころWeb

こころWebは、障害を持つ方のパソコン利用や、コミュニケーションを支援するためのサイトです。たくさんの機器を紹介しています。メーカーや販売先を知ることもできます。

分かりやすい分類で機器を探すことができます。パソコンだけでなく、スイッチ類やスイッチを使うための機器も紹介されています。

アドレス：<http://www.kokoroweb.org/>

今回のメールマガジンいかがでしたか？

